

NSC Database Library

NSCデータベース製品(国勢調査地図版)のご案内

町丁に近似した地域区画で、国が公表し誰でも利用できる「国勢調査町丁・字等別地図」の住所コードに対応した、当社国勢調査地図版データベースのラインナップを紹介します。

商業統計調査

商業統計調査とは

商業統計調査は、商業の実態を明らかにすることを目的にしており、その範囲は日本標準作業分類の「大分類 I 卸売・小売業、飲食店」に属する事業所のうち、飲食店を除く事業所を対象として、該当する事業所数・売場面積・年間販売額等を把握するための稀少な調査データです。

特にマーケティングの分野では、地域における商業施設の立地状況、販売量・効率とその動向等の把握に用いられるとともに、商業人口、小売中心地性といった指標に加工することで、他の統計では把握困難な買物目的の流動人口を推定することが可能となります。

ただし、商業統計調査における小地域別の公表値はメッシュ別であり、町丁別の集計値は公表されていません。当社では、小売業に限定していますが、公表されたメッシュ別データを基に、独自の処理により最新の国勢調査における町丁・字等別の地域区画に編集し提供しています。

新たな業種・業態・チャネルの出現、少子高齢化が進展するといった社会状況の中で、より精度を求められる出店戦略、売上目標の設定等に当データベースをお役立てください。

商業統計調査指標区分

商業統計調査指標区分
小売業事業所数
小売業従業者数
小売業年間商品販売額
小売業売場面積
商業人口
小売1店当り年間商品販売額
小売1店当り売場面積
小売従業者1人当り年間商品販売額
小売売場面積当り年間商品販売額

※国が公表する2015年国勢調査町丁・字等別地図に対応したデータベースです。
※当データベースの提供年次は、2014年です。

商業統計調査(活用事例・価格)

概要

最新の住所・地域区画(町丁)への対応と秘匿値の推計

商業統計調査の最小単位での公表値はメッシュ単位となっています。メッシュ単位の場合、地域区画の変動がなく全てが同一の面積を持つというメリットがある反面、地名との関連がなく地域の特定が困難というデメリットもまた併せ持ちます。

当社では、各種の地域情報を基に、メッシュ単位のデータを国勢調査の町丁・字等別地域区画に再編集しています。また、再編集にあたっては、公表値に多くみられる売場面積・年間商品販売額等の秘匿値についても、独自に推計しています。

★注意事項

2014年の商業統計は過去の調査と対象事業所の把握方法、調査方法が大きく異なっています。

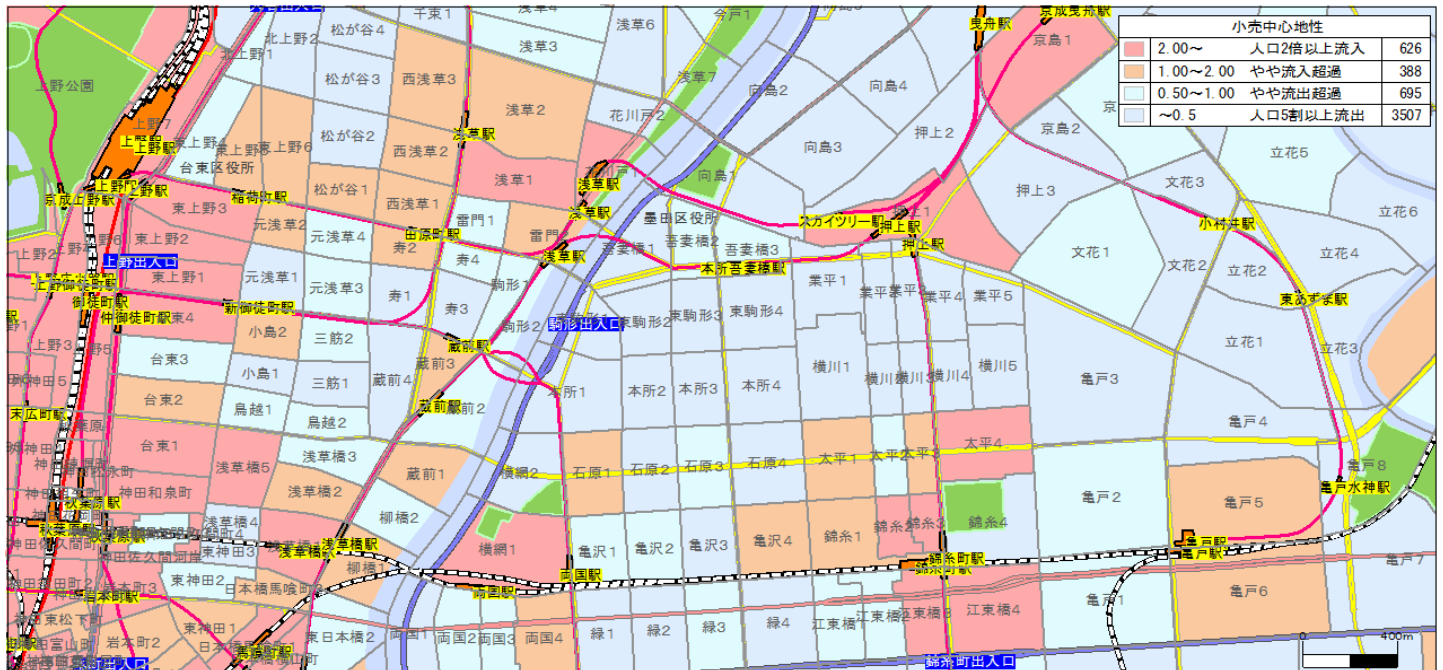
また、町丁別の推計方法自体も過去のものとは異なります。よって過去データとの時系列での比較を行う場合は、これらのことを十分に考慮する必要があります。

★活用事例

- ・ハフ型モデル、重回帰分析等への投入変数として⇒販売目標・商圈エリアの設定時等に。
- ・出店候補地の商業地としての水準・動向等の把握、既存店立地の評価⇒店舗等の立地選定・リロケーション検討時等に。
- ・時系列でみることにより、地域の動向(商核の移動、地域構造の変遷等)を把握するための指標として。

サンプルマップ

【小売中心地性による階級マップ】



小売中心地性(顧客流入比率) = 商業人口 ÷ 人口*

商業人口 = 年間商品販売額 ÷ 都道府県内人口1人当り年間商品販売額

*人口については別途ご購入していただく必要があります。

価格

価格は地域・利用クライアント数により変動致します。詳細についてはお問い合わせください。

全国 250,000円、地方版 50,000円、分県版 10,000円 (例: 1クライアントの場合)

※上記金額は、消費税抜価格です。

お問い合わせ先

データベース部 dbg@nihon-toukei.co.jp

※ご購入後のデータ活用方法についても、お気軽にお問い合わせください。